



「変化を乗り越えて」

3月・4月は様々な場面で変化が訪れる季節です。卒業・入学・就職・引っ越し…新しい環境への出会いは期待と不安が織り交じる物となります。私自身も、プライベートでは変化をあまり好まないタイプなので、なるべく環境の変化をしない様になっています。（仕事上の変化や挑戦は大好きなのですが…）

子ども達にも、環境の変化に敏感で苦手な子がたくさんいます。環境の変化を不安に感じる要因として大きく2つの事が挙げられます。それは「過程に対する不安」と「結果に対する不安」です。人は、この二つが見えにくくなったり、分かりづらくなったりした時に不安を感じやすくなります。これらを解消する為には「過程」と「結果」を、如何に分かりやすくするのがポイントになります。

過程の分かりやすさは＝方法・手段の分かりやすさと言っても良いでしょう。個人差はありますが、人が得る情報の8割は視覚情報と言われています。私たちも、支援の中で手順（過程）を写真や動画で見せる事で分かりやすさを重視しています。

結果に対する不安を解消するには、様々な要素が絡み合います。過程がいつも同じなら分かりやすいのですが、環境の違いにより同じ状況が生まれるとは限りません。その中で、安心感を得る為の大切な事として「経験」と「人」が挙げられます。経験に関しては、今までの育ちの中で、いかに成功体験を積み重ねているかが求められます。こう書くと勘違いをされてしまうのですが、全てを成功で終わらせる事は難しいので、失敗をした時に、それを「失敗にしない」事が重要です。私たちも子どもたちが上手く行かなかった時に、それを成功への道すじの一つと捉えて伝えています。人の部分では、環境や状況、過程が違っていても、関わる人に対する安心感や信頼感があると、それを乗り越えて結果を信じる事が出来ます。子どもたちに対する信頼感を構築する為に、私たちが約束した事は実行される事が大切です。その繰り返しの中で、私たち大人が子ども達と向き合っている事が証明されるのでしょうか。

この3月に多くの子ども達が小学校・中学校・高校を卒業して、進学・就職と新たな環境に挑戦をしてきます。皆さんが、新しい場所でたくさんの良い出会いがある事を祈りながら、私たちも応援をして行きたいと思えます。

児童通所課 嵯峨憲司



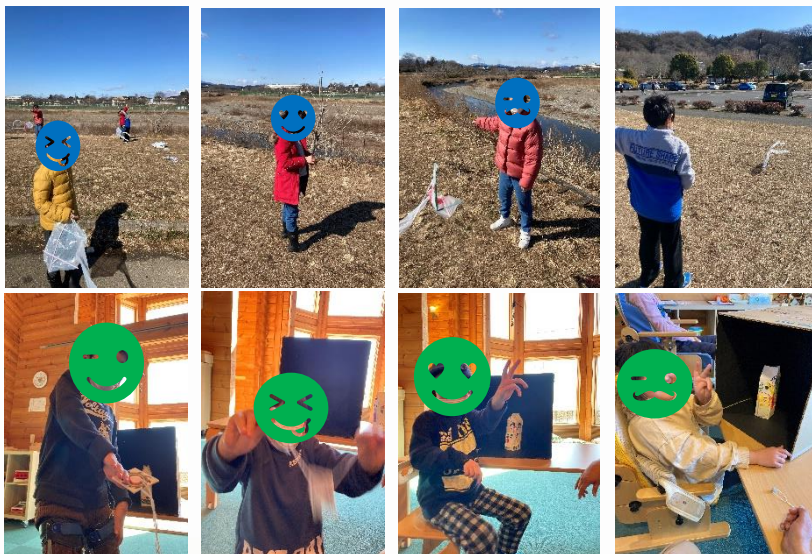
キッズサポートにじいろ 活動報告

にじいろ狭山活動紹介



2月11日(金) バレンタイン企画としてフラワーアレンジメント作りを行いました。大好きな人への思いを込めて好きなお花を選んで素敵にアレンジメント！それぞれの個性の光る素敵な作品が完成しました。午後はお菓子の家のお菓子取り放題で袋に入るだけお菓子を詰めておやつに食べました。2月23日(水)はMJ狭山と合同でオンラインゲーム大会を開催しています。合同チームで万歩計ふりふりゲームや何の絵描いたの当てるゲームなど盛りだくさんの企画です。画面越しですが臨場感満載で真剣に参加する子ども達でした。

2月11日(金)「タコを作って遊ぼう」、2月23日(水)「牛乳パックランタン、ぶんぶんコマ作り」を行ないました。タコは、制作後、阿須公園に行って、自分で作ったタコを上げて遊んできました。少し風が強かったので、よく上がっていました。ランタン・ぶんぶんコマ制作では、段ボール箱の中に黒い紙を貼り、その中でランタンを点け、制作発表をしました。皆それぞれ工夫をして制作していて素敵なランタンが出来上がっていました。



にじいろ入間活動紹介

教材紹介



～教材名～

数字とえんぴつの本数のマッチング

この教材では数字の「1」にはえんぴつを1本数字の「2」にはえんぴつを2本と0から10までの数字と同じ数の鉛筆を数えて入れていきます。

ねらうところは

「数字と実際の物の数の一致です。」

繰り返し行うことで量的な数の感覚をつかんでいきます。